



TITLE:

## 表紙・目次

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次. ことばの構造とことばの論理: 山口巖教授停年記念論文集  
1998

ISSUE DATE:

1998-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/65839>

RIGHT:

山口巖教授偉年記念論文集

ことばの構造  
と  
ことばの論理

1998

日本古代ロシア研究会

山口巖教授停年記念論文集

ことばの構造  
と  
ことばの論理

1998

日本古代ロシア研究会

Ad memoriam  
professoris doctoris Hisanosuke Izui,  
praeclari magistri sui,  
hoc opusculum  
dedicat

auctor.

## 序

茫々として三十四年。ユングフラウとフィンスターアールホルンの会話には及びもつかないが、須臾の間ではあった。

時は春、櫻の時期も近い。人はこのようなとき、どちらかといえば西行の美学に傾くようであるが、私は芭蕉の執念を執りたいと思う。

とまれ茲に一書を送る。偏に古代ロシア研究会の御厚意の賜である。とりわけて名古屋大学の中條直樹教授に多くを負っている。これはまた、これまで厚誼を忝くした方々への、感謝のしるしでもある。併せて厚く御礼申し上げる。

作成に当たって私の $\text{\LaTeX}$ の原稿を基に、全体の構成は主として当講座の院生越智誠一君がこれに当たられた。同君の献身には範疇を別するものがあつた。有難いことである。

綿密な校正を手掛けられたのは中でも総合人間学部の木下晴世さんである。全体の手配りは当講座助手の李長波君の手を煩わした。

その他校正等に関しては、当講座助教授ホアン・エンリケ・レオン先生をはじめとして、院生高梨克也君、松尾亮君、檜和千春君、信田千佳君、チャンティマー・チャンタラー君等の御蔭を蒙ったことも忘れられない。

題字については大連外国語学院副学長徐甲申先生にお願いすることができた。記して感謝の念を表したい。

山口 巖

洛東研究室にて

1998年3月

# 目 次

## 論文篇

1	О функциях полной и краткой форм имен прилагательных древнерусского языка .....	3
2	古代ロシア語における主＝対格と生＝対格の価値に関する一考察 .....	33
3	ノヴゴロド原初年代記シノダリ本における 活動体と不活動体の区別について .....	35
4	古代ロシア語形容詞の長語尾・短語尾両形の機能と 形容詞の種類の相関について .....	60
5	名詞の語尾に関する一つの場合 .....	73
6	露語初級文法覚書 .....	84
7	プラーグ構造言語学における機能の意味 — V. マテシウスの学説を中心として — .....	93
8	数詞 два、три、четыре を含む構文の成立について .....	102
9	古代ロシア語における動詞前綴の機能について .....	117
10	ロシア語における数のカテゴリーについて .....	141
11	名詞の性をめぐって .....	158
12	A Consideration on the Category of Transitivity in Russian .....	171
13	準他動詞について .....	183
14	古代ロシア語における第二対格について .....	195
15	超文的単位の設定とその構造をめぐって .....	205
16	状態動詞について .....	228
17	存在文と存在否定文について .....	235
18	運動の動詞について .....	260
19	行為の「質」について .....	272
20	Remarks on the Meanings of Russian Verbs .....	287
21	スラヴ語における非人称受動表現 .....	302
22	動詞前綴の意義の組込みについて .....	319
23	造格の機能といわゆる叙述の造格について .....	328
24	スラヴ語の行為名詞 -nie, -tie について .....	347
25	ノヴゴロド第一年代記シノダリ本における 古代スラヴ語要素について .....	357
26	古スラヴ語における、所謂行為名詞 -n/tie の機能について .....	380
27	ロシア語における再帰動詞の意義構造について .....	388

28	Vid and Načrťanie in the Slavonic Grammatical Terminology	398
29	「発話の場」の設定と文の種類について	403
30	暦の計算 — 年代記を読むために —	415
31	Несколько слов о значении сослагательного наклонения	442
32	ロシア語の類型学的考察	454
33	完了時称の機能	469
34	書評論文 和久利誓一、飯田規和、新田実編『岩波ロシア語辞典』	497
35	Concerning Diathesis and Related Categories	505
36	活格言語・能格言語・対格言語	516
37	言語類型学と品詞 — 形容詞のあつかいを中心に	522
38	内容的類型学とロシア語の類型	530
39	再読『マライ・ポリネシア諸語』 — 内容的類型学の立場から	540
40	時制とアスペクトをめぐる — 特に過去時称を中心に —	552
41	共時と通時の問題に寄せて — プラーク学派とロシア・フォルマリズムとソシュールと	574

#### 講演篇

1	プーシキンの詩にみられる副動詞の異形態	605
2	ロシア語の文法用語の成立	614
3	言語類型学と言語同盟	620
4	内容的類型学の概要	635
5	活格言語類型の論理	661
6	初心に返ろう	677
7	ことばの構造とことばの論理	683

#### 書評篇

1	Anders Sjöberg, <i>Synonymous use of synthetical and analytical reaction in Old Church Slavonic verbs.</i>	697
2	Я. А. Спринчак, <i>Очерк русского исторического синтаксиса.</i>	701
3	『スラヴ諸語語源辞典』について	705
4	『染谷茂ロシア語文法小話』を読んで	707
5	『ロシア・アカデミー辞典』	710
6	金田一真澄『ロシア語時制論 — 歴史的現在とその周辺』	713

雑文篇

1	チェコ語の話 .....	721
2	星雲 .....	755
3	中露教室だより .....	756
4	外国語の学び方 — ロシア語 .....	756
5	ことばの問題 — 言語の「構造」 .....	758
6	教養部改善問題資料集 まえがき .....	760
7	言葉を支えるもの .....	763
8	ことばというもの .....	764
9	ことばの周辺 — 先入観ということ — .....	768
10	出会いとふれあいと — 宿泊研修のすすめ — .....	771
11	私にとっての戦争 .....	773
12	自治会事始 .....	776
13	菱山忍先生の御逝去を哭す .....	777
14	大学生を語る .....	781
15	ロシア語の周辺 .....	783
16	わが街 わが大学 わが生協「古都の薫り豊かな大学生協」 .....	786
17	創立三十五周年を迎えて .....	788
18	ロシア原初年代記 はじめに .....	789
19	昭和62年度宿泊研修を終えて .....	793
20	JSSEES 創立の経過 .....	796
21	エスペラントと私 .....	801
22	「“実りある教養部改革”を求めて」を読んで .....	802
23	ロシアがロシアになってから .....	805
24	環境の身体に及ぼす影響について .....	807
25	類型学序説 まえがき .....	809
26	デュナミス創刊号 発刊の辞 .....	811
27	デュナミス創刊号 編集後記 .....	812
28	近頃思うこと .....	812
29	デュナミス第2号 巻頭の辞 .....	814
30	京都大学の思い出 わたしと生協 .....	815
31	ゆまに書房 世界言語学名著選集 刊行によせて .....	817



---

## 論文篇

---

---

## 講演篇

---

---

## 書 評 篇

---

---

## 雜 文 篇

---

著 者

山 口 巖 (やまぐち いわお)

1934 年 咸鏡南道元山府に生まれる

1957 年 京都大学文学部文学科卒業

1962 年 京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学

1998 年 京都大学大学院人間・環境学研究科文化環境言語基礎論講座停年

現 在 京都大学名誉教授

鳥取大学教育学部教授

著 訳 書 『ロシア原初年代記』(共訳、名古屋大学出版会 1987年)

『ロシア中世文法史』(名古屋大学出版会 1991年)

『類型学序説』(京都大学学術出版会 1995年)

1998年7月

古代ロシア研究特別号

山口巖教授停年記念論文集

ことばの構造とことばの論理

編集・発行

日本古代ロシア研究会

会長 山口 巖

事 務 局

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院国際開発研究科

052-789-4396

印 刷

〒600-8047 京都市下京区松原通麩屋町東入

(株) 田中プリント 075-343-0006

